

145. 楽器の好きな子にするには

【問い】オルガンを好きにさせたい、小学校4年の男児です。歌はよく歌うのですが、オルガンや笛はきらいで、音楽のある日は学校を休みたがります。好きにさせる良い勉強方法を教えてください。

【答え】楽器を演奏するという事は、総合的な知識、技能が必要で、ひとつでも理解できない個所があれば、つまづいて、ついにはきらいになってしまいます。どんなどころがつまづきやすいか、次にあげてみますので、そのなかのいくつかを重点的に練習させてみてはいかがでしょうか。

①鍵盤と音階との関連—ハ長調のドレミファが、ずらりと並んだ鍵盤のどこかをしっかりと覚えさせます。それには、ドからシまでの鍵盤あてクイズをやらせるのも良い方法です。楽器がむずかしいという児童の大半は、この鍵盤とドレミファがスムーズに結びつかないからです。

②5線と音高との関係—5線のところを書いてある同じような白、または黒の音符を、ドとかレとか、フリガナもなしに読むことは大変なことです。5線のどの場所にあるときは何と読むかを、ハ長調の楽譜で反復練習させてください。読めるようになったら高さもつけて歌わせませす。

③音符と長さとの関係—音符を見て、どういうリズムであるか判断し、演奏することもむずかしいことです。

例えば、♪♪♪は3：1：2：2の長さの割合としてとらえられるのではなしに、ターンタンタンとリズムカルに感じられてこそ、はじめて生きた楽しい音楽として指先に表れるのです。つまり、リズムを、頭ではなしに体で感じられるように、いろいろな機会をとらえて練習させてください。と同時に、楽しい曲をレコードなどで聴かせ、ぼくも弾いてみたいという意欲をおこさせることも、大切なことだと思います。